

共済組合員・OBとそのご家族の方へ

COVID-19

新型コロナウイルス感染症・後遺症 相談窓口

- ・職場で感染者が出たが、受診せず帰宅しても大丈夫か？
- ・咳がでるが、PCR検査は受けられるのか？
- ・発熱したが朝には熱が下がっていた。出勤しない方が良いか？
- ・感染から回復した後も「だるい」などの身体的不調が続いている。コロナの後遺症ではないか？

このような時は、相談窓口にご相談ください。

一人で抱えず
お電話ください

症状・不安・対応

- ・息苦しい
- ・感染しているか心配
- ・だるい
- ・近くに感染者が出た
- ・高熱がある

新型コロナウイルス感染症・後遺症相談ダイヤル



フリーダイヤル

ゼロ コ ロ ナ
0120-32-0567

●対象：(原則として)共済組合員・OBとそのご家族

●受付時間：(原則として)平日8:00-16:30 *土日を除く

ご案内の流れ(例)

相談窓口にて電話受付



来院による診察
(必要に応じてPCR検査を実施)

または、
近隣の医療機関等のご案内



必要に応じて入院等の措置



国家公務員共済組合連合会

虎の門病院

TORANOMON HOSPITAL

新型コロナウイルスの後遺症

感染から回復した後にも後遺症として様々な症状がみられる場合があります。

引用：東京都福祉保健局「新型コロナウイルス感染症後遺症リーフレット」

強い倦怠感

身体や精神的に「だるい」「疲れた」「疲れやすい」という軽い症状から、「体が鉛のように重く感じられる」といった強い症状まで様々な症例があり、さらに、重症化し「筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群」に移行する事例も報告されています。



味覚・嗅覚障害

「味がわからない」、「においがわからない」「本来のにおいとは別のおいを感じる」など、コロナ療養後も引き続き味覚・嗅覚障害が発症している事例が報告されています。



せき・たん

激しい咳が継続するなどの事例が報告されています。



呼吸困難

呼吸困難感など呼吸器症状が持続し、中には息苦しさで日常生活に支障をきたす事例も報告されています。



発熱

一般的な発熱のほかにも、長期間にわたって「微熱」が続くといった事例が報告されています。

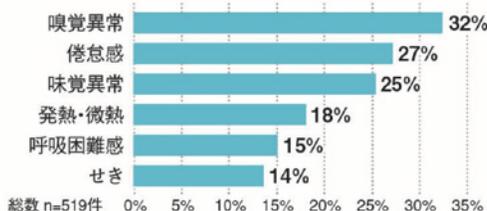


抜け毛

感染中に症状が現れ、療養後も症状が改善しないといった事例が報告されています。



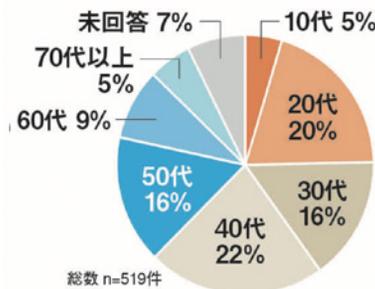
相談者の主な症状



相談者の症状は、嗅覚・味覚異常、倦怠感など様々である。

※1人の相談者が複数の症状をもつ場合がある。
データ提供：東京都病院経営本部（都立・公社病院「コロナ後遺症相談窓口」相談状況（令和3年5月末時点））

相談者の年代



「コロナ後遺症相談窓口」の相談者のうち、63%が40代以下の方となっており、若い年代からの相談も多い。

データ提供：東京都病院経営本部（都立・公社病院「コロナ後遺症相談窓口」相談状況（令和3年5月末時点））

後遺症が疑われる場合は、「新型コロナウイルス感染症・後遺症相談ダイヤル」へ